

《担当者名》白石 淳 [jun-jun@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

これまでの教育の歴史や思想を概観し、教育の基本的概念・理念を学ぶとともに、教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを学修する。

【学修目標】

授業終了後には次のことができるようになっているはずですが、また、そうなるように自らも努力してください。

- (1)教育の基本的概念を理解し、教育を成り立たせる諸要因との関係を説明することができる。
- (2)教育の歴史の基礎知識を理解し、多様な教育理念・教育及び学校の変遷を説明することができる。
- (3)教育に関する思想、理念を、今日の教育・学校との関わり関連づけまとめることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	教育を学ぶ意義と学校の意義	(1)教育を学修する意義 (2)学修する方法 (3)学校の意義を考える	白石
2	教育の基本概念と教育の必要性	(1)教育の概念・必要性 (2)ライフストーリーと学習 (3)EDUCATIONから考える教育	白石
3	教育の目標、義務としての教育	(1)教育が必要となった理由 (2)教育に義務が生じた理由	白石
4	日本の教育の歴史(1)終戦まで	(1)明治の教育政策と学校 (2)近世の教育 (3)教育二関スル勅語と教育	白石
5	日本の教育の歴史(2)戦後から現在まで	(1)教育への期待 (2)教育を受ける権利 (3)権利と義務	白石
6	教育思想と子どもの権利(1)子どもの発見、産業革命と子どもの生活	(1)子どもの発見 (2)産業革命と子どもの生活 (3)フレーベルの教育思想 (4)教育思想家の思想	白石
7	教育思想と子どもの権利(2)新教育運動と子どもの権利	(1)新教育運動 (2)人権思想の高まり (3)子どもに関する権利条約	白石
8	教育を受ける権利	(1)教育を受ける権利 (2)個人の尊重 (3)権利と義務	白石
9	教育基本法の理念と教育の目的・目標	(1)法律主義 (2)教育基本法 (3)教育の目的・目標	白石
10	教育制度の成立と展開	(1)諸国の教育制度 (2)教育制度の変遷 (3)学校の運営	白石
11	現代社会における教育の課題(1)教育課程と教育の課題	(1)学校の教育課程の変遷 (2)「生きる力」と「能動的な深い学び」(3)教育改革の動向	白石
12	現代社会における教育の課題(2)今日の課題	(1)支援を要する子ども(特別支援教育の充実) (2)子どもの貧困	白石
13	子ども・家庭・地域・学校と相互関係	(1)地域の課題 (2)家庭の課題(第一義的責任を有するものとして) (3)学校・教育機関のプロとして (4)学校の理解、理解されるための連携、情報公開	白石
14	教師・子どもとの相互関係	(1)教師と学校 (2)実践から考える教育の理念 (3)信頼関係を築くために必要なこと	白石
15	教育の理念と学校教育	(1)教育原理の学び (2)子どもの未来へのための教育 (3)教育とはなにか	白石

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

日常の授業(小課題のレポートなど) 30%
最終レポートに関する評価 70%

【教科書】

「新訂版 資料で考える子ども・学校・教育」(学術図書出版) ISBN-4873617723

【参考書】

「高等学校学習指導要領」(東山書房)
「だからあなたも生きぬいて」(講談社)
「インクルーシブ教育の真実」(学苑社)
「スクール・ウォーズ」(光文社)
「不良少年の夢」(光文社)
「夜回り先生」(サンクチュアリ出版)

【備考】

評価の観点など、授業に関する事項は、1回目の授業の際に説明する。
自ら考えることを大切にして、授業に参加すること。みなさんの学ぶ姿勢を期待する。

【学修の準備】

予習：前回の授業時に指示する課題及び次回の授業の範囲の教科書を読んで理解しておくこと(80分間)。

復習：毎回、配布資料に記載している課題を、教科書、プリントなどを活用し、学修内容を深めること(80分間)。

各回の授業に配布する『授業のプリント』に、「本時の復習内容」「次回の予習内容」を記載するので、取り組むこと。またプリントに「ワークシート」を示すので、授業の復習に活用すること。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教育の基礎的理解に関する科目」の「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」に該当する。

【実務経験】

高等学校教諭

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校での教諭としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な内容を含みながら講義を行う。